

『自動車用代替燃料の導入障壁』

世界の国々では、エネルギー政策や環境問題などを背景に、伝統的な輸送用燃料であるガソリンや軽油に代わる代替燃料が導入されようとしているが、こうした新しい燃料を導入するにあたっては、実際上の課題(障壁)が多くある。

そこで、国際エネルギー機関(IEA)、自動車用先進燃料研究開発実施協定アネックス 15 では、IEA 諸国における自動車用代替燃料の導入に関連した実際上の障壁について分析・検討が進められた。

本調査の目的はこれら障壁の概要を提供すること、代替燃料を導入するかどうか判断する際に参考にできる情報源を提供することである。利用者がニーズに最も適した代替燃料を選択できるよう、または問題を解決できるよう、潜在的な問題に焦点をあてたものになっている。

「低公害・代替燃料自動車の普及促進のための調査研究」
この事業は、競艇公益資金による日本財団の補助金を受けて実施したものである。